

かたがわ 市議会 だより

令和6年2月1日

第89号

令和5年11月
定例会の内容を
お知らせします。



おもな内容

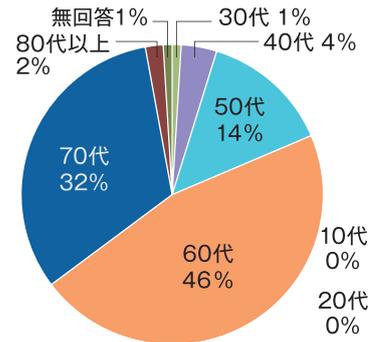
- P2 トピック（議会報告会）
- P4 常任委員会調査研究報告
- P6 出前講座開催報告
- P7 補正予算等の審議内容（11月定例会）
- P8 審議結果一覧（11月定例会）／意見書
- P9 会派代表質問
- P12 一般質問
- P16 今後の議会予定／議員研修会／傍聴席／表紙の説明／編集後記

～市民により開かれた議会を目指して～

令和5年度「掛川市議会 議会報告会」

多くのみなさんのご参加 ありがとうございます

本年度の議会報告会は、6会場とWEB 動画配信で行いました。毎年、議会報告会の運営に課題感を持ち、市民のみなさんに、よりわかりやすく届ける方法を探っています。本年は、積極的にご参加くださる方が増えてきたように感じ、うれしく思いました。みなさんから頂いた、貴重なご意見を大切にまいります。ご協力に感謝申し上げます。



アンケートの年代別割合

議会報告会の目的

- ・市民に開かれた掛川市議会を目指すため
- ・調査研究を市民のみなさんと共有し、ご意見を踏まえた政策提言にするため



桜木会場の様子



大須賀会場の様子

全般的な感想や議会に関するご意見、ご要望について

- 若い世代や、女性が参加しやすい取り組みが必要である。
- 自由質問の時間をもっと増やしたり、討論会形式にしたりするのも良いと思う。
- ごみ問題や税金など、議会の中の協議案件についてもっと知りたかった。
- 委員会の成果を生かし、行政へ厳しい対応をしてほしい。
- パワーポイントの作り方や発表の仕方など、もっとレベルアップしたものを期待している。
- 掛川市議会は市民の声を聴く取り組みをしていると思うので、その姿勢を続けてほしい。

議員に対する励ましや、あたたかな言葉を多くいただきました。これを励みに、ますます頑張ります。



各委員会の中間報告に対するご意見など

総務委員会

テーマ 上下水道のあるべき姿について

- 水道管の老朽化は心配ですが、水道料金が上がるのは厳しいです。
- 簡易水道については、市の水道課にて上水道と同一の管理をお願いしたいです。
- 東遠地域での広域化を進めると、掛川市の負担が増えるだけにならないでしょうか。もっと県にも働きかけて、大きい枠組みでの広域化が必要だと思います。
- 下水道事業の公共下水、農業集落排水がありますが、合併浄化槽設置に移行していく方が良いのではないのでしょうか。



環境産業委員会

テーマ 持続可能な農業を目指して

- 農業従事者の高齢化と後継者不足は大変深刻な問題なので、掛川市としてどう対応するか、具体的に考えるべきだと思います。
- 新規就農を目指す方は、農業だけで生活が成り立つか不安なのは。不安がなくなるような仕組みができれば良いと思います。
- 貸出農機具事業は新規就農者に限定されていますが、すでに就農している方にも事業の拡大のために利用できればいいと思います。
- 農業の担い手について、どのようにして持続可能な形にしていくのが大事だと思います。特に、収入面のアップが必要です。



文教厚生委員会

テーマ どうする掛川！少子化を食い止めるための支援の在り方

- 1300人以上の方から回答していただいたアンケートは貴重だと思います。分析した内容を楽しみにしています。
- 掛川全体で公園整備が遅れていると思います。掛川で産みたい・育てたいと思われるには公園整備を！
- 掛川で産みたい！日本の問題であり政府も取り組んでいます。日本各地の自治体で先進的に取り組んでいる内容をリサーチしたらどうでしょうか。
- 晩婚化、未婚化も少子化の要因の1つなので、この視点も必要だと思います。
- 無償化は安易で財政を圧迫します。魅力的な施策を考えるべきです。



※アンケート内容は文字数の関係上、要約しています。

「議会報告会 報告動画」は、引き続き視聴できますので、ぜひご覧ください。

ご視聴はこちら →



常任委員会 調査研究報告

～市民のみなさんのご意見を踏まえ、より深い議論を～

各委員会で研究テーマを定め、これまで積極的に調査研究を行ってきました。また、議会報告会にて、調査内容を市民のみなさんにお示しし、アンケート（2～3ページ掲載）でご意見をいただきました。市長への政策提言に向けて、これらのご意見を踏まえ、さらに調査研究を重ねていきます。
※各委員会の議会報告会の資料は、二次元コードからご覧いただけます。

総務委員会

委員長 藤原正光

年間テーマ

上下水道のあるべき姿について

調査研究報告

- ①簡易水道事業の会計を統合するなど、持続性を確保すること
- ②簡易水道事業の老朽化した設備対策について、統合を含め地元との協議をすること
- ③単独浄化槽を無くす対策を早急に検討すること
- ④公共下水道の処理場稼働率を見極め、検証したうえで合併浄化槽を推進すること
- ⑤地域間格差や世代間格差の解消のために、県に共同化や広域化に向けた意見書を提出していくこと



大井川広域水道企業団への現地視察

まとめに向けて

これまで私たちの生活や経済活動を支えてきた水道の恩恵を、これからも享受できるよう、アンケート結果などを基に市民のみなさんのニーズを適切に捉え、公平性を意識した水道サービスの提供を目指して協議を進めていきます。



環境産業委員会

委員長 窪野愛子

年間テーマ 持続性の高い農業を目指して

調査研究報告

- ① 掛川市の農業と基幹産業である掛川茶の後継者不足や農業従事者の高齢化、耕作放棄地の増加など厳しい現状認識を市民と議会が共有すること
- ② 環境への負荷の低減 (SDGs) と、農業従事者への貢献 (稼げる農業や作業の効率化) などのバランスを取ること
- ③ 先進地事例に学ぶ、農業者の負担を減らす農機具の貸出事業や新規就農を促す伴走型ワンストップ支援窓口を設置すること



かけがわ西の市での意見交換

まとめに向けて

掛川市にとって重要な産業である農業が大変に厳しい状況にあります。掛川市農業の今後の方向や施策を総合的に示す「農業振興ビジョン」と現状を有事と捉えた「掛川茶未来創造プロジェクト」の後押しおよび進捗チェック、そしてオーガニックビレッジ宣言を受け、市議会と行政が一体となって持続性の高い農業を目指してまいります。



文教厚生委員会

委員長 寺田幸弘

年間テーマ どうする掛川! 少子化を食い止めるための支援の在り方

調査研究報告

- ① 子育て世代のニーズを把握したうえで、当事者に寄り添った施策の充実を図ること
- ② 保育料や教育費など、子育てへの負担軽減などの経済的支援を拡大させること
- ③ 駐車場のある公園などのハード整備に取り組むこと
- ④ 庁内で主導的部署を設け、さまざまな情報発信や庁内窓口の周知など、ソフト面での支援充実を図ること
- ⑤ 国・県へ少子化対策の要望を届けること



栗東市への行政視察

まとめに向けて

アンケートの結果から、少子化対策のために子育て支援の必要性が分かってきました。議会報告会での意見や関係部署へのヒアリングも踏まえ、政策提言につなげていきます。





出前講座に寄せられたご意見

今年度からスタートした出前講座では、高校生からシニア世代まで幅広い世代の方々との意見交換ができました。



掛川東高校

- 通学路のバスが少ないので、増便してほしい
- 商業施設が少なく、駅前周辺に若者が集まる場所がないので造ってほしい
- 18歳で選挙権を持つようになったが、若者が投票しやすい環境を作してほしい
- 議員さんと初めて話ができ、とても良かった

シニアクラブ掛川

- 定年延長により70歳くらいまで働く人が増え、シニアクラブへの入会者が少ない
- まちづくり協議会へ人材が求められ、シニアクラブに加入する人が減少した
- 交通の便が悪く買い物などに困っているため、移動スーパーなどの充実が必要である
- 議員さんとの出前講座を年に1回実施してほしい



掛川市消費者協会

- 議会について、今まで知らなかったことがよくわかった
- ワークショップが少人数で意見が言いやすかった、定期的に関わってほしい
- 幅広い年代の方とグループで意見交換をし、質問内容が多様で思っていた以上に楽しかった
- 議員さんと身近でフリートークできる場がよかった

市民に、より開かれ信頼される議会となるために、今後も出前講座を実施してまいります。

お申し込みは
こちらから



補正予算などの審議内容

令和5年度一般会計補正予算(第7・8・9・10・11号)の概要

補正額	(第7号) (専決処分)	17万円
	(第8号) (債務負担行為 限度額)	4億2,899万円
	(第9号)	5億7,622万円
	(第10号)	8万円
	(第11号)	5億2,415万円
補正後の予算額		527億 579万円

- 第7号：ファームポンド用地誤登記処理損害賠償等請求事件に係る弁護士委託契約の追加
- 第8号：みなみ学校給食センター調理業務委託の公募を前倒し
- 第9号：人件費(人事院勧告)や指定管理者光熱費高騰対策支援金、福祉施設等物価高騰対策支援給付金、地域協働環境整備費、森の都ならここの里民間譲渡関連事業費、イノシシ等有害鳥獣駆除事業費、小・中学校施設補修費など
- 第10号：ファームポンド用地誤登記処理損害賠償等請求事件の反訴の提起
- 第11号：物価高騰対応重点支援給付金給付事業

(8号)

みなみ学校給食センター調理業務委託追加 4億2,899万円

期間を令和5年度から令和11年度、限度額を4億2,899万2千円とする債務負担行為を設定



主な質疑

- Q** 早期にプロポーザルをすれば、業者が選定でき安定的に運営できるのか。
- A** 業者を選定するにあたり、金額だけで選定すると業者が厳しい状況になることが想定されるが、今回のプロポーザルでは、業者から提案をいただき、総合的な判断でより良い業者を選定したいと考えている。

(9号)

財政融資資金繰上償還金及び補償金増 8,333万円

森の都ならここの里の民間譲渡に伴い、辺地対策事業債の繰上償還のため、長期償還金などの増額



主な質疑

- Q** 長期償還金について、8,300万円を返済すると辺地債を使って新たな事業ができるが、その議論について財政課の見解を伺う。
- A** 今回の繰上償還分については、今後、6,700万円ほどの普通交付税が措置される見込みであったが、施設の更新費用などを考えると、今のタイミングで譲渡することは妥当と考える。

イノシシ等有害鳥獣駆除事業費増 2,323万円



有害鳥獣の捕獲頭数増加(当初855頭→見込1,496頭)に伴う処理費用の増額

主な質疑

- Q** 補正額はおおむね倍の金額になっているが有害鳥獣の頭数は倍ではない。焼却費の高い種類の有害鳥獣が多かったのか。
- A** その通りで、鹿などの大型動物を焼却する場合はかなり高額になる。大型動物が非常に増えており、今後、まだ増える可能性もある。

小・中学校施設補修費増 4,220万円

トイレ洋式化改修、照明設備LED化改修および新年度の学級編制における学級増に対応するための委託料および工事請負の増額



主な質疑

- Q** 令和7年度までの改修個数と改修方法、改修業者について伺う。
- A** 令和7年度までに洋式化率70%を達成するため、小学校は139個、中学校は85個を洋式化する。改修業者は、学校数が多いため分散して発注する予定である。

(11号)

物価高騰対応重点支援給付金給付事業費追加 5億2,415万円

主な質疑

- Q** 給付金事業の詳細を伺う。
- A** 住民税非課税世帯(約7,100世帯)に7万円の給付を行う。

11月定例会における審議結果一覧

審議の結果、予算を13件、条例を7件、その他を7件、議発を1件可決しました。

■全会一致で可決・承認

予 算	令和5年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	令和5年度掛川市水道事業会計補正予算(第1号)について
	令和5年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第2号)について	令和5年度掛川市公共下水道事業会計補正予算(第1号)について
	令和5年度掛川市介護保険特別会計補正予算(第2号)について	令和5年度掛川市農業集落排水事業会計補正予算(第1号)について
	令和5年度掛川駅周辺施設管理特別会計補正予算(第2号)について	令和5年度掛川市浄化槽市町村設置推進事業会計補正予算(第1号)について
	令和5年度大坂・土方工業用地整備事業特別会計補正予算(第2号)について	令和5年度掛川市一般会計補正予算(第10号)について 令和5年度掛川市一般会計補正予算(第11号)について
条 例	掛川市職員の給与に関する条例の一部改正について	そ の 他
	掛川市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正について	
	掛川市国民健康保険税条例の一部改正について	
議 発	「民生委員・児童委員の担い手不足の解消を求める意見書」の提出について	掛川市・菊川市衛生施設組合規約の変更について
		市有地の処分について(大坂土方工業団地用地) 専決処分の承認を求めることについて(令和5年度掛川市一般会計補正予算(第7号)について) 反訴の提起について 財産の減額貸付けについて(サンサンファーム)

■賛否の分かれた議案(賛成多数可決)

○賛成 ×反対

議案名	創 世 会										新しい風	SKK*	共産*	共掛*	志*							
	山本裕三*	高橋篤仁	鷺山記世	安田彰	山田浩司	橋本勝弘	石川紀子	寺田幸弘	藤原正光	松本均	二村禮一	嶺岡慎悟	藤澤恭子	松浦昌巳	窪野愛子	山本行男	大井正	勝川志保子	富田まゆみ	鈴木久裕	草賀章吉	
令和5年度掛川市一般会計補正予算(第8号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度掛川市一般会計補正予算(第9号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
掛川市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
掛川市特別職の職員で常勤のもの給料等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
掛川市教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
掛川市森の都ならこの里条例の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の減額貸付けについて(森の都ならこの里)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の処分について(森の都ならこの里)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

*議長(山本裕三)は、採決には参加しません *SKK▶市民派・公明倶楽部 共産▶日本共産党議員団 共掛▶共に創る掛川 志▶志誠会

国へ意見書を提出

掛川市議会では、令和5年12月18日に以下の意見書の提出について全会一致で可決しました。

民生委員・児童委員の担い手不足の解消を求める意見書(抜粋)

国会及び政府に対し、早急なる対応を強く要望する。

- 1 民生委員の活動範囲及び役割の明確化
- 2 民生委員に対する活動費の充実

会派代表質問 Q & A



2名以上の議員で構成される5つの会派（創世会、新しい風、日本共産党議員団、共に創る掛川、市民派・公明倶楽部）代表が来年度の行政経営方針や予算編成に対する市長方針を受け、包括的な視点から代表質問を行いました。議会でのさまざまな論議が来年度の市政運営に生かされていくことを期待します。
二次元コードから各会派代表質問の議会議中継をすべて視聴することができます。

創世会



藤原正光



創世会の代表
質問はこちら
から

亡くなった後も尊厳が守られる仕組みを

Q 身寄りのない高齢者が増加し身元保証や死後事務が課題となっているが、踏み込んだ終末期サポートができないか伺う。

テクノロジー活用を研究する

A ふくしあでは、家庭訪問など健康状態の懸念される方の把握に努めています。今後は、生活状況を把握できるテクノロジーの活用なども併せて研究していきます。また、「私の健康人生設計ノート」が、自身の終末期について家族と話し合うきっかけとなるよう、活用を進めていきます。

乳幼児から成人まで幅広く感染する感染症の対策を

Q 年齢を問わず、高頻度で合併症を引き起こす、おたふくかぜのワクチン接種費用の助成ができないか伺う。

ワクチン接種の費用助成を検討していく

A おたふくかぜは、幼児期のワクチン接種が発症予防や重症化予防に有効性が高いとされていますので、当市も新たにワクチン接種の費用助成を検討していきます。

意欲や能力を活かし活躍できる場を

Q シニアクラブの年齢による画一化した取り組みを見直し、高齢者のコミュニティの在り方を再考できないか伺う。

アクティブシニアが活躍できる体制づくりを研究していく

A シニアクラブの活動は大変重要であり、引き続き連携と支援が必要だと考えています。また、現在調整している地区まちづくり協議会とのマッチングに合わせ、地域のアクティブシニアたちが意欲や能力などに応じて活躍できる体制づくりを研究していきます。



新しい風



新しい風の代表
質問はこちら
から

藤澤 恭子

地区集会の在り方とは

Q 平日の日に中に開催した地区集会の成果と課題、来年度の方向性を伺う。

A アンケート結果を踏まえ、来年度の方向性を検討する

Q 本年度試行した平日昼間の開催は、職場での休みが取りにくいなどの意見がありました。今後行うアンケート調査と併せ、来年度の方向性を検討していきます。

農業の担い手不足に対する支援を

Q 農業用GPSの基地局の導入などDX化を積極的に後押しする政策を伺う。

A 県や地元と連携し、持続可能な農業振興を推進していく

Q 現在、国の補助制度を利用して、水田において自動で地表をならす作業の機械化や、施設栽培において温度湿度管理や灌水などを自動で行うDX化を推進しています。今後も、補助制度

などの情報提供や、県や地元との連携による農業従事者の省力化事業に取り組み、持続可能な農業振興を推進していきます。



新設された発達相談支援室の取り組みは

Q 支援が必要な子どもたちの、個性を尊重した多様な学びや、療育の場のさらなる拡充への展望を伺う。

A 市が発達支援体制を充実させ、共生社会の実現を目指す

Q 今年度から設置した発達相談支援室では、学校心理士と公認心理師を配置しました。適切な支援の提供により、不登校やひきこもりを予防し、関係機関と連携し個人に合わせたケアなどにより、共生社会の実現を目指します。今後、子育て支援センターへの出張相談や情報共有システムの構築も予定しており、掛川市の発達支援体制を充実させていきます。

【その他の質問事項】

・大規模災害に備えた減災対策について

日本共産党議員団



日本共産党議員
団の代表質問は
こちらから

勝川 志保子

住民満足度を上げる施策で人の持続性と住みよいまちづくりを

Q 住民の満足度を上げる政策を中心に据え予算配分することで、流入を含めた人口増が図られるのでは。

A 市民の声をしっかりと受け止め、まちづくりを進める

Q 住んでいる方の満足度を高め、地域の魅力を向上させることが、新たな人々が移り住み、地域の成長や発展につながると考えています。引き続き、市民の声をしっかりと受け止め、まちづくりを進めていきます。

環境教育とごみ減量施策で環境の持続可能性の実現を

Q ごみの全量外部搬出というピンチを、ごみの分別と減量化を市民が学び実践するチャンスと捉えて施策展開を。



有効な処理が期待される紙おむつごみ

新たな分別やごみ減量に向けた施策を展開していく

Q ごみの外部搬出量の削減につながるごみの分別と燃やすごみの減量について、必要性を強く感じています。環境の持続性に向けた取り組みには、市民に必要性を理解していただくことが重要ですので、丁寧な説明に努めるとともに、「おむつリサイクル・ごみ減量推進会議」での議論を踏まえ、新たな分別や更なるごみ減量に向けた施策を展開していきます。

広域化事業にも市の責任ある対応を

Q 中東遠総合医療センターや環境資源ギャラリーなど、広域で行なう事業にも、立案、計画に市の政策を反映させ、運営に責任ある対応を。

A 市の方針に沿った政策目標の実現を目指す

Q 広域事業の推進は、参画自治体が同じ目的を持つことが重要です。当市の方針に沿った政策目標の実現を目指していきます。

共に創る掛川



共に創る掛川の代表質問はこちらから

鈴木久裕

市長のまちづくりビジョンの浸透は

Q 久保田市政となり2年7か月、市民から「市長が掛川市をどのような都市にしたいのか分からない」との声がしばしば聞かれる。市長が考える掛川市の将来像や展望を、具体的に分かりやすく市民に浸透を図るべきではないか。

「次世代につながる持続可能なまち」を目指す

A 私が考える掛川市の将来像は「次世代につながる持続可能なまち」です。今年度の地区集会では、「人の持続可能性」が求められていることを改めて痛感しました。地域活動の担い手として、安心して次の世代にバトンタッチしたい。地域のお祭りの伝統と心意気を子どもたちに伝えていきたい。今まで培ってきた技術、スキルを後輩たちに引き継いでもらいたい。そんな市民の声に答えるためにも、未来に向けて対話を重視し、チャレンジの気持ちを大切に市政に取り組んでいきます。

大規模事業を実施していくための長期計画の必要性は

Q 小中一体校整備や新ごみ処理施設をはじめ大規模な施設建設事業が予定されている。特に小中一体校については、「30年計画」では悠長すぎる。可能な限り短期間で整備していくためには、財源も含めた長期的な財政計画が不可欠ではないか。

第3次掛川市総合計画に合わせ、財政計画を策定していく

A 社会経済情勢が急速に変化する中、行政の各種制度などを長期間見通すことが難しいため、当市では10年を超える長期財政計画は策定していませんが、今後策定する「第3次掛川市総合計画」の計画期間に合わせ、大規模な施設整備計画などの整合性を図りながら、財政計画を策定していきたいと考えています。

【その他の質問事項】

・地籍調査事業のさらなる推進について

市民派・公明倶楽部



市民派・公明倶楽部の代表質問はこちらから

山本行男

認知症対策の取り組みは

Q 掛川市では、認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる社会を目指している。認知症基本法の成立を受け、市の取り組みを伺う。

条例の見直しや、ふくしあ機能の充実を図る

A 市の健康医療基本条例を見直し、認知症の方の基本的人権尊重や共生社会の実現の追記を研究します。また、認知症への理解の普及や啓発、認知症の方やその家族へのサポートが一層必要となるため、関係機関との連携を深めるとともに、ふくしあ機能の充実を図っていきます。

ふるさと納税新ルールへの対応は

Q 10月1日からふるさと納税の取扱いを改正し、経費に関わる全てを、寄附総額の5割以下とした。新ルールへの対応を伺う。

新規返礼品で寄附総額を増やす

A 現状、化粧品などの新規返礼品で寄附総額を増やし、寄附単価を引き上げないよう努めています。新ルールでは経費に算入する項目が増え、経費率を順守することが厳しい状況にあり、今後、返礼品の減量や寄附単価の引き上げを行わなければならぬと考えています。

東環状線の取り組みは

Q 前市長の時に議論が高まった掛川東環状線は、その後、事業に関わる情報がない。地域の交通緩和や産業・防災面で主要な道路だと思いが今後の取り組みの方向性について伺う。

都市交通マスタープランを踏まえ事業の方向性を見極める

A 当該路線整備は、交通の利便性向上が期待される一方、大きく大な費用が想定されるため、将来を見据えた検討が必要です。現在、県が主体となり、令和6年度に都市交通マスタープランの策定を予定しています。この計画に合わせ、事業の方向性について見極めていきます。

一般質問 Q & A



創世会
山田浩司



山田議員のすべての一般質問が視聴できます



中学生・高校生に留学支援を

Q 国は、グローバル人材を育成するため、学生に留学を勧めている。未来の掛川市を担っていく中学生、高校生に対して掛川市も留学支援に力を入れる時期にきていると思うが、見解を伺う。



中高生海外研修事業の再開を予定している

A 掛川市では、将来の外国留学など海外に目を向ける機会を提供するため、コーニング市およびユージン市への中高生海外研修事業を実施し、渡航費の一部を補助しています。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和元年8月のコーニング市訪問を最後に休止していますが、令和6年度から再開予定です。

空き家の解体費用の補助を

Q 「特定空き家等」の増加を防ぐために、空家等対策の推進に関する特別措置法が改正された。空き家の解体費用補助や土地売却額の見積りを無料で算出するサービスなどにより、特定空き家の除去を進めるべきと考えますが、見解を伺う。

解体を促す補助制度を検討していく

A 放置すれば倒壊など著しく保たない危険となる特定空き家に関する活用が困難になりますので、解体を促す補助制度を検討しています。併せて、NPO法人かけがわランド・バンクとも連携し、土地売却額の見積りサービスも含め、解体後のマッチングにつながる仕組みも検討したいと考えています。

市民派・
公明倶楽部
窪野 愛子



窪野議員のすべて
の一般質問が視聴
できます



外国人材を獲得するための
取り組みは

Q 本市は持続可能なまちを目指し、令和7年の目標人口を11万5千4百人と設定しているが、出生数の減少と多死社会を迎え、外国人材の受け入れが必要である。人材を獲得するための取り組みを伺う。

外国人の方々が安全安心に
生活できるよう取り組み

A 外国人人口はコロナ禍の影響で減少しましたが、令和5年10月時点では、コロナ前を上回る4,976人で、市内全人口の4.3%になります。本市が外国人に選ばれるまちとなるために、生活基盤となる地域社会や就労先の企業、学校において、外国人を受け入れるための連携が必要です。多言語による情報発信や外国人児童への支援などの取り組みを進め、外国人の方々が安全に安心して生活できるよう取り組んでいきます。

デジタル社会に対応するため
に市民への意識啓発を

Q 手のひら市役所は、市民にとってまだ身近なツールとはなっていない。さらなる来庁者の抑制や、進展するデジタル社会に対応するため、サポート体制の構築が必要と思うがいかがか。



手のひら市役所がより身近な
ツールとなるよう取り組み

A 令和4年度には市民アンケートやオンライン申請、本年度はオンライン申請のキャッシュレス決済を導入しました。また令和3年度から、スマホ講習会を開催しています。来年度は、こども希望課で職員が手伝いながら、市民にオンライン申請を体験してもらおう予定です。今後も、誰一人取り残されない人ややさしいデジタル化により、手のひら市役所が市民により身近なツールとなるよう推進していきます。

志誠会
草賀 章吉



草賀議員のすべて
の一般質問が視聴
できます



長期間、当時の市長へ報告さ
れなかった理由は

Q 家代の里緑地売却の判決が確定し、市は土地代金や損害賠償金など多額の支払いをすることになった。売却後、県から指摘を受けながら市長報告を怠ったのはなぜか、その課題を伺う。

初めての事案で、報告体制が
確立していなかった

A 初めての事案であったことで内部協議に時間を要し、市長への報告が遅れたと承知しています。こういった事案に対する報告体制がしっかり確立されていなかったことが原因だと考えています。

当時の市長は、業者へ誤りの
謝罪をしなかった。市長の評
価は

Q 市の誤りを認めながら、当時の市長は不動産業者に謝罪をしなかったが、市長はこれをどのように評価するか伺う。

係争中であつたため、謝罪に
行けなかった

A 誤って緑地を売却したことの瑕疵を認めたくなくて、まずは緑地の買戻しを第一に考えていました。その交渉を進めていく中で裁判に発展したことから、係争中なので謝罪に行けなかったものと思います。

【その他の質問事項】

- ・市職員の育成方針とその取り組みについて
- ・ボランティア活動について

創世会
高橋篤仁



高橋議員のすべての
一般質問が視聴
できます

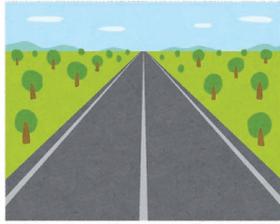


道路並びに道路周辺整備の維持管理の徹底をすべきでは

Q 交通事故防止において、区画線の明瞭化は必要と考えるが、見解を伺う。

区画線明瞭化は交通事故防止に重要な役割である

A 区画線には道路の中央にある車道中央線など多くの種類がありますが、どれも自動車や歩行者など道路利用者の安全を確保するためのものです。区画線の明瞭化は交通事故を防止し、安全、円滑な道路交通を確保するために極めて重要な役割を果たしていること認識しています。



養護老人ホーム統合への早期計画が必要ではないか

Q ききょう荘と小笠老人ホームの両施設の統合について、早期の計画が必要と考えるが、見解を伺う。

指定管理者や組合構成市と今後の在り方を検討する

A 令和3年度から小笠老人ホーム施設組合の構成3市や、市内にある2つの養護老人ホームの指定管理者と、施設の在り方や集約化の可能性を検討しています。小笠老人ホームの法定耐用年数は残り15年ほどで、組合構成市の検討では、建て替えではなく改修しながら運営する意見が出ています。一方で、ききょう荘の耐用年数は残り10年ほどしかないため、引き続き施設の指定管理者や組合構成市とスケジュール感を共有しながら、今後の在り方や方向性を検討していきます。

【その他の質問事項】
・自治区支援について

共に創る掛川
富田まゆみ



富田議員のすべての
一般質問が視聴
できます



もったいない条例の一翼を担う生ごみ減量ミニキエーロ導入を

Q カーボンニュートラル(温暖化防止)を目的に制定した「もったいないを合言葉にカーボンニュートラルを推進する条例」の推進には、ごみ減量が有効で、全量ごみ外部搬出の処理経費削減につながる。手軽にできるミニキエーロの導入が効果的と考えられているかが。



手軽な生ごみ処理器「ミニキエーロ」

導入促進に向けて検討する

A 現在、生ごみは「おむつリサイクル・ごみ減量推進会議」において、資源化の推進と、排出量そのものを減らすという両側面から、総合的に検討しています。排出量を減らす観点で、キエーロやコンポストなどは大変有効です。特に、市民活動団体「掛川市エコ・ネットワーキング」が推奨するミニキエーロは、市民への普及拡大に期待できると考えます。

で、その導入促進に向けて検討していきます。

事業者と働く人々を守る公契約条例を制定すべき

Q 適正な賃金体系、委託・指定管理の雇用継承、公共サービスにつながる公契約条例は、事業者と働く人々を守ることになる。県内市町で初となる条例を制定すべきと考えるが。

動向を注視しつつ、慎重に研究・検討をしていく

A 労働者の賃金は、最低賃金法で最低賃金の支払いが遵守されていること、および労働者の雇用環境や待遇の改善は、各事業者の労使間交渉により自主的に決定されます。公契約条例の制定は、引き続き労働基準監督署をはじめとする関係機関や各自治体の動向を注視しつつ、慎重に研究・検討をしていきます。

創世会
鷺山 記世



鷺山議員のすべての一般質問が視聴できます



22世紀の丘公園を利活用すべし

Q 「ゆつくり、じつくり、森づくり、みんながあつまる手作りの公園」という基本理念を実現するために、どのような利活用をしていく考えか、見解を伺う。

A 現在、実りの里において水田でのもち米栽培などを指定管理者の自主事業にて実施しています。また、畑には今年度新たに柵を設置し、獣害対策をするなど、理念の一部である「みんながあつまる手作りの公園」を体现しているところです。今後の利活用には、公園利用者の意見を参考に指定管理者と協議し、事業内容や方法について検討していきます。

ルールを緩和しバーベキューができるようにすべき

Q 火気使用禁止のルールを森の里のみ緩和し、市へ許可申請書を出すことでバーベキューができるようにするべきと考えるが、見解を伺う。



森の里

A 都市公園内での火の使用は、都市公園法施行令第18条「公園管理者が指定した場所以外の場所で行き火をすること」により禁止をしています。しかし、他の公園でも火気使用要望がありますので、今後の公園利用の促進などを考慮し、バーベキューなどでの利用が可能となる条件を検討していきます。

創世会
橋本 勝弘



橋本議員のすべての一般質問が視聴できます



公共施設等総合管理計画の目的は

Q 単に投資を抑制するための計画ではなく、厳しい財政状況の中で、必要な投資を確実に実施するための対応方針を定める計画と考えるが、見解を伺う。

A 公共施設マネジメントの目的は「公共施設等の安心・安全を確保するとともに、公共施設等によるサービスを最適かつ持続可能なものとする」ことです。公共施設等総合管理計画は、そのための基本的な方向性を示すものであり、考え方として「保有総量の適正化」、「長寿命化と安全確保」、「運営管理の適正化」の3つを掲げています。

今後10年先を見据えた新たな投資は

Q 希望がみえるまち・誰もが住みたくなるまち掛川を実現していくためには、新たな公共施設等の建設にも取り組む必要があると考える。これまでに議会で取り上げられた施設や市長の公約を含め伺う。

A 人口減少時代において、公共施設の増設は持続的な行政経営の観点から望ましいものではなく、令和元年8月策定の公共施設再配置方針では、公共施設の延床面積約25%を縮減することが目標です。現在は、学校再編計画に基づく学校施設や新たな廃棄物処理施設の建設、「たまりくな」の再整備を進めています。これから新たに公共施設の建設が必要になった場合は、投資をしていきます。

今後の議会予定

※12月21日現在の予定です。今後変更される可能性があります。

2月

- 7日(水)9:00 ○全員協議会
- 19日(月)9:30 ○本会議(開会、議案の提案説明)
- 20日(火)9:30 ○本会議(議案の提案説明)
- 21日(水)9:30 ○予算決算委員会
- 22日(木)9:30 ○本会議(令和5年度関係議案質疑～委員会付託)
- 本会議終了後 ○予算決算委員会、分科会
部門別常任委員会
- 27日(火)9:30 ○予算決算委員会

3月

- 1日(金)9:30 ○本会議(令和5年度関係議案 委員長報告～採決)
- 4日(月)9:00 ○本会議(一般質問)
- 5日(火)9:00 ○本会議(一般質問)
- 6日(水)9:00 ○本会議(一般質問、令和6年度関係議案質疑～委員会付託)
- 本会議終了後 ○予算決算委員会、分科会
- 7日(木)9:30 ○分科会
- 8日(金)9:30 ○分科会
- 11日(月)9:30 ○分科会
- 13日(水)9:30 ○部門別常任委員会
- 18日(月)9:30 ○予算決算委員会
- 22日(金)9:30 ○本会議(令和6年度関係議案 委員長報告～採決、閉会)

傍聴席

掛川は住みやすいと言いつれど、私たちは、介護や子どものごと、それぞれが困りごとを抱えており、今回の議会の質問にも入っていた。それらの回答は「検討していきたい」、「取り組んでいく」あるいは「担当課と調整を図りながら引き続き努力してまいります」等々。それっていったい何を言っているんだ？ 私たちは今、困っているんだ。

市議会とは、解決するための討論の場であって欲しい。

小島直子(上垂木)

議員研修会

掛川市議会では議員の能力向上を図るため、議員研修会を開催しています。

令和5年10月20日に開催した議員研修会では、早稲田大学マニフェスト研究所ローカルマネージャー(兼)招聘研究員の長内紳悟氏から、これからの広報広聴の在り方についてを演題に講義を受けました。

今後、議員研修会で学んだことを議会活動に活かしていきます。



議員研修会の様子

編集後記

本議会には、意見や考え方が異なる6つの会派があります。その会派の代表質問が、毎年11月の定例会で行われます。今回の代表質問について、どのように感じられたでしょうか。誌面の関係上ごく一部の掲載ですが、各質問者の隣にある二次元コードから視聴できますので、ぜひアクセスしてみてください。

昨年より回数が増えた、議会報告会や出前講座についての報告はいかがでしたでしょうか。私たちにとっては、まさに実りの秋でした。今後このような場を設け、市民のみなさんの声を市政に反映してまいりますので、積極的なご参加を期待しております。

議会だより編集特別委員会

安田 彰

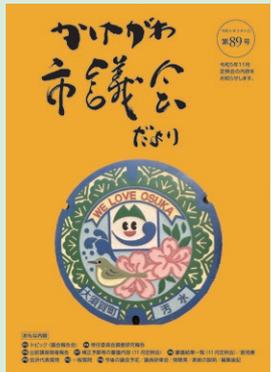
今号の表紙は、静岡県立横須賀高等学校2年生書道部、堀内乃音叶さんの作品です。

「見えやすく間隔をあけたり、字を丸くしました。」



堀内乃音叶さん
ぼらうち ののか

今号の表紙



大須賀区域マンホールのふた

